

平成 23 年度 府立堺西高等学校 経営計画

1 めざす学校像

西高 Style 西高 Pride の創造 ～2017年 創立110周年を見据えて～

➤未来につながる確かな学力を育み、堺西高校を「誇り」とする教育に取り組んでゆく

①「未来につながる確かな学力」の育成

- ・本校は生徒会活動と部活動を中心に据えた生徒指導により落ち着いた授業環境を保っている。この環境を生かし、生徒に一層の飛躍を求めため、「体育 芸術 表現創造コース」を平成 22 年度に設置した。この専門コースのねらいは、従来の文型・理型・看護型に本専門コースを加えることにより進路選択の幅を広げ、一人ひとりの生徒が**思い描いた未来の自分になるための努力を重ねていく**ことにある。
- ・様々な学習活動や部活動、学校行事を通じて、**基礎・基本の力を蓄え、未来につながる確かな学力を育み、互いの違いを認め合いながら西高を誇りとしてゆく営みを進める。**

②「授業力」の向上

- ・生徒一人ひとりが未来につながる確かな学力を身につけることができるように、生徒個々の適性に合ったきめ細かな指導に取り組む。そのために教職員が常に現状を分析し、次のステップを明確に把握するために授業評価や学校自己診断アンケートを活用するシステムを構築してゆく。

③「西高コミュニティ」への展開

- ・西高の教育資源である「地域」や「小・中学校」との連携を深化させ、**西高を核とした新たな地域教育コミュニティ（西高コミュニティ）を構築し、学校力の更なる向上を図ってゆく。**

2 中期的目標

【具体化すべき事項】

1 「体育 芸術 表現創造コース」の定着・充実

- ①専門コース希望者数は 80 名を目標とする。
- ②コース選択者の進路実現に向け、生徒・保護者に対する進路ガイダンスや大学等の見学会を充実させる。
- ③体育コースは、競技環境の充実に向けた予算配分を行う。
- ④芸術コースは、芸術系大学等への進学指導を授業に加え補講等で充実させる。
- ⑤「実践的キャリア教育・職業教育」事業の受託により、未来の自分につながるためのワークショップを展開する。

2 看護師等医療系進学への推進

- ①看護専門学校等の医療系進学に力点をシフトした進学指導を充実させる。
- ②1・2年生の早期より看護医療系の仕事内容を理解させるため、医療系専門学校への体験機会を積極的に設ける。
- ③「実践的キャリア教育・職業教育」事業の受託により、未来の自分につながるためのワークショップを展開する。

3 部活動・学校行事の活性化

- ①部活導入部率 70%達成を目標にする。
- ②それぞれの部が、ボランティア活動を行うことを推進する。
ア) 地域清掃活動 イ) 地域小中学校支援活動 ウ) 地域イベントへの積極参加 エ) 交通安全活動 等
- ③学校祭をはじめとする各種行事を自主的に企画運営するなかで課題解決能力を向上させる。

4 授業公開の推進

- ①若手教員の育成を目的として教員間の授業公開を推進する。
- ②新規採用教員はもとより、本校を初任校とする教員が月に数回以上ベテラン教員の授業を見ることを目標値とする。
- ③平成 22 年度より始めた授業評価アンケートを活用するため、平成 23 年度からは校内に互いの授業の意見交流や研究活動が行える組織づくりを進める。

5 ボランティア活動の導入

- ①学年・部活動などさまざまな機会を通じてボランティア活動に参加させ、地域社会の一員としての自覚を高めていく。
- ②学校行事のみならず、外部団体からの要請には常に前向きに行動することを強く求めていく。

6 会議システムの活用

- ①管理職ミーティングに加え、首席及びミドルリーダーによる「首席ミーティング」を組織運営の企画機関として活用する。
- ②堺西高校の様々な課題解決や今後の方向性について議論する「トータルプラン委員会」の活用を図っていく。
- ③運営委員会が職員会議の議案調整のみならず、学校の将来像を議論できるような機会を段階的に増やしていく。
- ④ICT 活用による業務の効率化を図っていく。

7 小・中・高連携の発展

- ①小・中・高・大の連携した取組みの検討
ア) インターシップ 制度の活用 イ) 異校種間授業交流の推進 等

3 本年度の重点目標と取組み

| | 目標 | 取組計画 | 評価指標 |
|------|---|---|---|
| 取組み① | <p>「体育 芸術 表現創造コース」 選択希望者数 80 名</p> <p>○1年生を対象とした取組み</p> <p>○中学3年生を対象とした取組み</p> <p>○受講者への進路意識啓発</p> <p>○地域等への発信</p> <p>*上記に掲げた4つの取組をとおして専門コース選択希望者数が安定的に確保できることを目標にする。</p> | <p>1年生対象</p> <p>①コース選択に向けたガイダンスの充実 ②模擬体験授業時期の早期化と回数増 ③受講者による体験談発表会</p> <p>中学生対象</p> <p>①学校説明会にコース説明コーナー開設 ②授業見学会を設ける</p> <p>受講者対象</p> <p>①体育・芸術系進学ガイダンス ②教科指導教員による相談体制の充実 ③生徒・保護者対象進路見学会の充実 ④未来の自分につなげるためのワークショップの実施 (実践的キャリア教育・職業教育事業)</p> <p>地域等対象</p> <p>①ホームページに専門コース情報発信コーナー開設 ②受講者による発表活動</p> | <p>体験発表会 11月に3日間</p> <p>3回/年</p> <p>進路見学会 3回/年(保護者対象) 1回/年(生徒対象)</p> <p>11月に実施 3日間の開催 展示と発表</p> |
| 取組み② | <p>看護師等医療系進学の推進</p> <p>○看護・医療系専門学校等見学会</p> <p>○ガイダンスと受験指導</p> <p>*就職状況の悪化という社会状況を反映し、顕著に増加する看護・医療系への進学者の期待に応える指導・情報提供・ガイダンスシステムの充実を目標にする。</p> | <p>看護・医療系専門学校等見学会</p> <p>①PTA主催による学校見学会の実施 ②オープンキャンパス参加推進 ③卒業生による進学体験・就業体験説明会</p> <p>ガイダンスと受験指導</p> <p>①卒業後の就職実績等情報の提供 ②受験科目の重点講習 ③未来の自分につなげるためのワークショップの実施 (実践的キャリア教育・職業教育事業)</p> | <p>7月9, 16, 23日 3日間実施 5大学 卒業生による 説明会 2回</p> <p>1回/年(生徒対象)</p> |
| 取組み③ | <p>授業公開の推進</p> <p>○相互授業見学</p> <p>○授業研究会活動</p> <p>*世代交流を活性化し、授業力を高めるとともに生徒指導に関する経験が蓄積・活用できる校内システムづくりを目標にする。</p> | <p>相互授業見学</p> <p>①若手教員の育成を目的として授業公開回数を増やす。 ②異教科間の授業見学を活性化する。 ③授業アンケートを活用し、課題を明確化する。 ④ベテラン教員による若手教員育成システムを構築する。</p> <p>授業研究会活動</p> <p>①授業アンケートを活用した意見交流会を開催する。 ②若手教員による見学回数チェックとアンケートの実施。</p> | <p>研究授業 2回/年 相互授業見学 随時/年 若手教員育成 5回/年</p> <p>授業評価 アンケート及び 総括会議における 総括 1回/年</p> |